

- 淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん -

月刊 ポケットあわじ

地域の中で がんばってます！

兵庫県下に約400の作業所・授産施設があります。
淡路島内には、13ヶ所の作業所・授産施設があり、
障害を持つ人たちが地域とのつながりの中、それぞ
れの仕事や活動に励んでいます。

今回は作業所の仲間が地域の中で運営する店舗や
交流拠点などを紹介します。



VOL.21

発行日 2004年2月1日

(発行) 淡路生活創造応援隊

県立淡路文化会館

県立淡路生活科学センター

〒656-1521 津名郡一宮町多賀600

TEL0799-85-1391

FAX0799-85-0400

トライアングル

洲本市本町商店街コモード56にある
レインボープラザ横に福祉の店「トライ
アングル」があります。毎週月曜日には
知的障害者小規模作業所「デイセンター
あおぞら」、水曜日に知的障害者小規模
作業所「コスモス作業所」、金曜日には
精神障害者小規模作業所「各駅停車」の
メンバーにより運営しています。店内に
は古本や古着などのリサイクル商品やそ
れぞれの作業所で作ったクッキーや花
などが置かれていて、地域の人とのふれ
あいの場となっています。お買い物の際
にお立ち寄りください。みなさんのお
越しをお待ちしています。

* 次ページもご覧ください。

わいわい サンリッチ

わいわいサンリッチは、東浦町ひまわり作業所を母体とした障
害を持った人が主役の喫茶コーナーです。サンリッチはひまわ
りの花の一品種で障害を持っていてもごく当たり前で地域の中
で生き生きと活動していける拠点をこれからも増やしていきたい
という思いを込めてつけられました。多くの方々とふれあうこと

を楽しみにメンバー、スタッフ一同お
待ちしています。安くておいしいコー
ヒーを入れますので、お出かけください。

(ひがしうらサンシャインホール内

0799-74-2199

営業時間10:00~16:00 定休日：月・木)



飲み物と手作りクッキーのセット



ホームページ : <http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Himawari/7772/>

淡路の作業所を紹介します。それぞれの作業所からいただいたPR文を紹介します。



「ぶったあ」のお店にはきれいなお花がいっぱい！

共同作業所ぶったあ

知的障害者小規模作業所「共同作業所ぶったあ」を障害の生きる拠点として～ 学校卒業後、重い障害を持つ人たちの働く場として鶏卵や花の店があります。毎日家から通い、会議やイベントにも参加します。障害があっても普通の暮らしをするために支援費制度のガイドヘルプを使い、病院や買い物に出かけます。グループホームをつかって友達と一緒に暮らしたいと願っています。

(淡路町岩屋600-1 0799-72-2414)

“障がい者地域生活拠点『ぼれぼれ』”

2003年4月にオープンした僕らの作業所は“障がい者地域生活拠点『ぼれぼれ』”っていいです。障がいがあっても、ず～と地域で暮らし続けていくための拠点になるようにと思っています。『ぼれぼれ』では、畑仕事や天草採り、びわ・ぶどう・いちじくなどのジャム、キムチ作りなどを行っています。色々なことに挑戦しています。応援してください。(北淡町浅野南2-40

0799-82-0922北淡町社会福祉協議会内)



おのころ作業所

こんにちは！おのころ作業所（高齢・重複聴覚障害者小規模通所作業所）です。聴覚障害者はその障害ゆえにコミュニケーションをとることが難しく、精神的に孤立した状況を起こしやすくなります。またそれは社会の中においても、気軽に話せない、十分に理解してもらえないといったことから疎外感も強くなります。誰もが社会の中で共に暮らし、人と人の関わりの中で人間らしく生きたいと願っています。「聴こえない」ことに加え、身体・知的・精神などの障害、さらに未就学であることなどを併せもった人のほか、受け入れる企業・事業所もなく社会参加へ道が閉ざされている人、また高齢聴覚障害者など・・・同じ障害を持つものがお互いに助け合いながら、家に引きこもることなく、人と、社会と関わり、生き生きと暮らせるように願いつつ集まっています。



(洲本市本町3-3-5 0799-26-0956)

さくらんぼの里

津名郡広域事業組合立さくらんぼの里は、生活機能の低下などにより、就労することが困難な精神障害者が、自立できるよう支援し、社会復帰を促すことを目的とし建設されました。現在約30名が洗濯の仕事や箱作りなどの作業を行っています。また、ノーマライゼーションの一環である居場所としての機能も持っています。(津名町中田3725 0799-62-3700)



コスモス作業所

コスモス作業所は現在17名の所員が通所する知的障害者のための福祉施設です。自分の生まれた社会で自立した生活を送るために、必要なことを身につけながら、作業もしています。今年の4月にはクッキー工房が完成し、クッキーづくりも本格的になってきました。また、「コスモス太鼓」にも力を入れています。いろんな舞台で元気一杯に笑顔で叩いています。仕事も遊びも一生懸命取り組んでいます。

(洲本市池内1248-1 0799-23-1421)



一宮町あいあい作業所



ポン菓子製造中！

知的障害者小規模作業所「一宮町あいあい作業所」は「出あい・ふれあい・違いあい」を大切に、7人の仲間と3人の職員がアットホームな雰囲気の中で活動しています。線香の箱作り、アルミ缶回収の他に、自主製品としてポン菓子作りを始めました。現在はバザーを中心に地元の販売店にも少し置かせていただいています。

今後も地域を中心に小さな作業所が大きな音を響せ、どんどん町にアピールしていこうと思っています。応援してくださいね！

(一宮町郡家392-1 0799-85-2882)

私たち五色町立小規模授産施設「あゆみの部屋」は、平成6年4月、五色町の堺保育園の一室を借りて、その第1歩を歩み始めました。今年の4月で11年目を迎えます。現在は、五色町情報センターの1階で活動しています。

「あゆみの部屋」は、知的障害のハンディを持った人達の作業所です。ワイワイがやがや、楽しくにぎやかに作業に取り組む毎日です。主な作業は、靴下の廃材を使ったバスマット、座布団やなべ敷きなどを作っています。バザーやイベントに参加して、作品をお客さんに買ってもらいます。

そして私たちの楽しみは、いろんな人達と出会うことです。鮎原診療所、堺保育園などと交流し、地域の人達との出会い、ふれあいを大切にしています。「おはようございます。」「こんにちは。」「今日もがんばろなあ。」「腹へったあ。」あゆみの部屋では、今日も元気な声が飛び交っています。(五色町鮎原小山田510-7 0799-32-0400)

五色町立あゆみの部屋



竹の子作業所



知的障害者小規模作業所「竹の子作業所」は島内で5番目の共同作業所として、平成7年5月、津名町中田にオープンしてから8年。翌8年4月現在地に移転してからは、新生作業所として毎日、仲間と一緒にクッキー作りやマット編み、クリスマス用品作り等の作業をがんばっています。今では、所員も10名に増え、バザーや毎月の清掃活動にも参加し、地域との交流も図っています。

(津名町志筑237-5 0799-62-5062)



きらら

三原郡小規模作業所「きらら」は公設民営で三原郡が設置し、社会福祉法人淡路島福祉会が運営しており、三原町神代浦壁地区にある浦壁大池のすぐそばに建っています。現在、精神障害者が21名、知的障害者が32名の合計53名が通所しています。

作業は、三原町内の公園の清掃や玉ねぎを作ったり、手すきはがきや名刺の製作、リサイクルの布でのマット編み木工でマグネット作りをしています。通所者が、作ったものをバザーで販売したり、店舗で販売していただいたりして、その売り上げが通所者の給料になっています。

作業以外にも夏祭りや作業所見学会とバザーを開催して地域の方々に始め多くの方々に来ていただいたり、月に1度合同のレクリエーションをしたり、調理実習、ハンドベル演奏など、楽しい行事も行いながら日々がんばっています。

平成16年4月からは、隣に知的障害者通所授産施設「ウインズ」が開所し、現在のきららは、精神障害者小規模授産施設「きらら」とかわり、通所者の方々は期待に胸を膨らませています。(三原町神代浦壁198-1 0799-43-2156)



デイセンターあおぞら

「デイケアセンターあおぞら」には知的障害また知的および身体障害を併せ持つ仲間が7名在籍しています。その名のとおり、作業中心ではなく、レクリエーションやクッキング、絵を描いたり、音楽に触れられるよう楽器演奏をしたりしています。そんな中で、少しでも自分にできることを増やしていこうとメンバー達は前向きに取り組んでいます。また、清掃活動を通して社会への参加もがんばっています。「トライアングル」(p.1)でもお待ちしております。みなさん応援よろしく！(洲本市千草甲193-1 0799-22-7656)

風邪に負けない、ひと工夫…

暖冬と言われたこの冬ですが、温暖な気候に恵まれた淡路島でもやはり風邪がはやっています。応援隊が集めた風邪の予防策を紹介します。ぜひお試しください！

風邪の予防には、まず、**休養、栄養、保温・保湿！**

外から帰ったら、「うがい」と「手洗い」を忘れずに！
うがいには、緑茶や紅茶がいいですよ。



部屋の空気が乾燥しないよう気をつけましょう！
加湿器の代わりには、濡れタオルをつるすなどの工夫をしてみませんか？

風邪のひき始めの咳には、ダイコンあめがおすすめです。ダイコンをさいの目切りして、ビンに8分目入れます。これに、ダイコンがつかる位まではちみつを注ぎ入れ、半日おきます。ダイコンから汁が出たら、杯1杯ぐらいずつなめます。

ビタミンA（かぼちゃ、にんじん、ほうれん草など）や
ビタミンC（みかんやレモンなど）をたっぷりと摂りましょう！



鍋料理であまおう！

昨年のことですが、津名町で「子どもが喜ぶ家庭料理コンテスト」があり、優秀賞に輝いたチベットの鍋料理を紹介します。生穂在住の米田悦子さんが子どもたちも食べやすいようアレンジされたレシピです。「トゥクパ」とはチベット語で「鍋」という意味だそうです。（山口真智子）

トマトビーンズトゥクパ

《材料》

玉ねぎ（みじん切り） 大2個
しょうが（みじん切り） 大さじ1
牛肉ミンチ 300g
トマト水煮 1缶
中華スープの素 大さじ1
小麦粉 300g

にんにく ひとかけ みじん切り
セロリ 1本 薄切り
にんじん 1本 乱切り
大豆水煮 200g
ごま油 大さじ3

《作り方》

にんにく、しょうがを炒める。
玉ねぎを加えて炒める。玉ねぎがしんなりしたら牛肉を入れ、セロリ、にんじんを順に加えて炒めていく。
トマト缶、水500cc、中華スープの素を入れ煮る。
大豆の水煮を加え、塩、こしょうで味をととのえる。
小麦粉をボールに入れて、耳たぶくらいの柔らかさになるまで水を少しずつ加えながらこねる。10分ほどねかせる。
指にごま油をつけて、をちぎりながら鍋に入れて、10～20分煮込んで出来上がり。

* 野菜は、大根、いんげんを入れてもおいしいですよ。

